

令和 7 年 5 月 2 8 日
山形県さくらんぼ作柄調査委員会

令和 7 年産さくらんぼ作柄調査結果

1 調査期日 令和 7 年 5 月 2 3 日（金）

2 調査場所 県内主要産地 4 8 園地（「佐藤錦」 4 0 園地、「紅秀峰」 8 園地）

3 調査結果

○花束状短果枝当たりの着果数は、1.3 果で、平年より少ない。
（着果数の数え方は別紙参照）

4 作柄予想

（1）収穫量の予想

○作柄は、平年より「少ない」。

○予想収穫量は、9, 1 0 0 ～ 1 0, 2 0 0 トン（前年比 106 ～119%、平年比 72 ～80%）。

○着果数が少ない主な要因として、開花期の天候不良（強風、降雨）で訪花昆虫の活動が鈍かった園地が多く、受粉が進まなかったことが考えられる。

○双子果の発生は、平年より多いが、前年より少ない。

【前年収穫量】 8,590t

【平年収穫量】 12,700t（過去10年間のうち最大と最小を除いた8カ年の平均値）

※作柄は、平年収穫量との比較で次の5段階に区分する。

「多い」:115%以上、「やや多い」:105%以上 115%未満、「平年並」:95%以上 105%未満、
「やや少ない」:85%以上 95%未満、「少ない」:85%未満

（2）収穫盛期の見込み

○「佐藤錦」：6 月 1 7 日～2 3 日頃（平年並み）

○「紅秀峰」：6 月 2 5 日～7 月 2 日頃（平年並み）

5 今後の対応

○双子果や着果数の多い園地における摘果作業、適切な着色管理、高温対策、適期収穫など、高品質生産・厳選出荷に向けた指導を徹底する。

○6 月上旬～中旬に補完調査を実施し、今回の作柄予想から大きな変動が見込まれる場合は、改めて周知する。



【問合せ先】

山形県さくらんぼ作柄調査委員会事務局
（山形県農林水産部 園芸大国推進課内）
課長補佐（果樹振興担当） 安達 栄介

TEL：023-630-2453

〔広報監〕 農林水産部次長 小泉 篤

【別紙】

かそくじょうたんかし
「花束状短果枝」について

- 1 「花束状短果枝」とは、束になって花が咲き、実が着く極短い枝のことです。
- 2 1本の枝に、何個もの「花束状短果枝」が着生します。
- 3 「花束状短果枝」の生育の進み方



【発 芽】



【開花直前】



【満 開】

- 4 「花束状短果枝」に着果した様子



白○で囲んだ花束状短果枝の着果数は、
3果（赤○で囲んだ果実）となる

＝作柄調査＝

■目通り(1.5m)と 3.0mの高さで、それぞれ東西南北の枝について、連続して着生する10個の花束状短果枝に果実が何個ついているかを調査します。

■1樹あたり80個の花束状短果枝を調査して、花束状短果枝1個当たりの着果数を算出します。

【 参 考 資 料 】

◇ 調 査 地 域 と 園 地

県内主要産地の11ブロック、48園地

上山・山形南部	3園地（山形市、上山市）
山形北部・西部	4園地（山形市、山辺町、中山町）
天童東部	5園地（天童市）
天童西部	5園地（天童市）
寒河江北西部	5園地（寒河江市）
寒河江東部・河北	5園地（寒河江市、河北町）
村山	4園地（村山市）
東根東部	5園地（東根市）
東根中部	5園地（東根市）
東根西部	4園地（東根市）
南陽	3園地（南陽市）
紅秀峰	8園地（山形市、天童市、寒河江市、東根市）

◇さくらんぼの結果樹面積・収穫量の推移

区 分	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
結果樹面積	2,900ha	2,890ha	2,870ha	2,860ha	2,840ha	2,830ha	2,800ha	2,790ha	2,770ha	2,710ha
収 穫 量	13,200t	15,000t	14,500t	14,200t	11,900t	13,000t	9,160t	12,400t	13,000t	8,590t
10aあたり収穫量	455kg	519kg	505kg	497kg	419kg	459kg	327kg	444kg	468kg	317kg

※ 資料は、果樹生産出荷統計（農林水産省）